

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森篠田校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員全員が専門の資格を取得しており、専門的な部分から支援の向上が期待される。	・それぞれの視点から支援の情報共有・提供を行っている。	・ケース会議を定期的に設け職員全員が利用者様ひとり一人の共通理解を図る。
2	・移行支援で各保育園・幼稚園に出向き様子見学、先生達との情報共有、提供、理解を深めている。	・保護者様からの相談を受けて、早い段階で予定を組み園へ出向いたり、逆に支援の様子をみて頂いたり工夫をしている。	・一度行けばいいのではなく、継続していく。
3	・個別療育のみではなく、小集団療育を月1回~行っている。	・同じ内容にならないように工夫している。 ・季節に合った創作活動を取り入れている。	・利用者様が楽しんで活動が行えるよう工夫を凝らしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の保育所や幼稚園へ出向き、利用者様の園での様子を見学・情報共有、提供、理解を行うことは出来ているが、地域の中で他のこどもと活動する機会はない。	・1時間の個別療育になるので、どうしても限りがあると思われる。	・地域との連携を図ることはよいことだと感じている。 すぐには無理でも少しずつ改善していきたい。 ・防災訓練では地域の警察署と連携し訓練を行うことができているので継続していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」青森篠田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

38名

回収数

38名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	1	0	3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1	0	5		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	1	0	0	・色々なプログラムがあるので、毎回楽しみにしています。	・今後も継続していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	8	7	13	・事業所内での交流会はありますが、他の地域の子どもの活動の機会はないです。	・他の地域の子どもの活動の機会は今年度は無かったです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	3	2	10	・親の接し方にも問題があると思うので教えてほしいです。	・外部の研修などがあれば、教室内に掲示をしていますので、ご覧になってください。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	38	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	0	0	0	・毎回のフィードバックは有難いです。最近どうですか？と聞いてくれるのが嬉しいです。	・時間は限られますが相談、困りごとを聞いています。 ・お時間が足りない時は別枠で時間を取っていただき、家族支援ということでお話ができます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	2	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	8	8	14	・保護者会があるのかかわからないです。	・保護者会は今年度は行うことができませんでした。来年度開催がありましたら早めにお知らせいたします。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	3	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	5	1	9		・ブログやInstagramで情報を発信しております。まだ知らない保護者様もいらっしゃるようなので、今後も周知していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	3	2	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	4	2	14		・毎月1回、避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	0	2	9		・契約時にお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38	0	0	0	・リラックスして楽しんでいる表情がよくみられます。 ・じっくり向き合ってもらえることがうれしくて安心するようです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	4	0	0	・毎回、楽しみにしています。 ・張り切って通っているので、安心していきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	1	0	0	・楽しそうに通わせていただいて嬉しいです。 ・先生方が感じよく、おかげさまで日々成長を感じ大満足です。	・ありがとうございます。 今後も満足していただけますよう職員一丸となって励んでいきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森篠田校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ブースをパーティションで区切り、それぞれわかりやすいように動物の名前をつけている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		職員全員で毎日掃除をしている。長期休み前は大掃除をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室の部屋があるので、必要に応じて使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、事業所アンケートを実施している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケース会議等で意見等を話す機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部評価はしてないですが、内部監査を年2回行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間スケジュールを立てて研修に参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援計画に沿った支援プログラムを作成し支援後のフィードバック時に保護者様に説明している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にあセスメントを行い、ニーズや課題を分析し計画作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議を設け、職員間で共通理解されている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有されて、計画に沿った支援が行われている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動の様子や指定されたツールを用いてアセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員間で連携を取りながら、適切な支援内容を設定することができている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数担当の利用者様や小集団療育時に行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様の発達に合わせて工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		小集団療育も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずではないですが、ケース会議、空き時間を利用して情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必ずではないですが、ケース会議、空き時間を利用して情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は必ずとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度の割合で行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		支援時間の中でその子に応じて必要な基本活動を組合わせて支援している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援の課題の中でどちらの課題を行うか（選択し）自分で決めてもらうことを取り入れている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管・担当職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校や園など、連携して支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の予定は各学校のHP等で確認をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			スーパーバイズや助言等を受ける機会は、ないが、外部研修にて講師の方から助言をいただくことはある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の中で他のこどもと活動する機会はない為、今後の課題となる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			参加できていない為、今後の課題となる。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバック時に保護者様とお話をさせて頂いている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		教室内に研修のチラシなど掲示している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバック時に相談、助言をしている。また、場合によっては別時間で家族支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様も含めた交流課題を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応の調整をし、相談に応じている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、ブログやインスタグラムで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各それぞれのマニュアルがあり周知できている。また訓練も研修の中に組み込まれている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		研修委員会が主となって訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様から服薬、てんかん発作等の情報を聞き、状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食事の提供はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修・訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの前に想定できる危険行動等に対応することを職員間で話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会があり研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		支援計画に記載している。		